



▲太鼓演奏などで椎葉村をPRしました

阿蘇ファームランドで観光PR

3月25日、椎葉村観光協会が阿蘇ファームランド（熊本県）で観光PRを行いました。同所を訪れた観光客に対し、向山日当神楽保存会と平家大いちょう太鼓の協力を得て神楽や太鼓演奏を披露。またパンフレットを配布するなどして、本村の観光や物産についてPRしました。

今回は台風災害の状況、特に道路状況について広く知ってもらう目的もありました。多くの方は椎葉への観光は出来ないと思われているようでしたが、そういう風評被害を払しょくする良い機会となったようです。観光協会では、ゴールデンウィークを皮切りにこれから迎える観光シーズンに向けて、積極的にPR活動を行っていきたいとのことでした。



▲街頭キャンペーンに参加した上椎葉わらび会の皆さんとマスコット。

交通安全マスコット

4月6日、村物産センター「平家本陣」前で行われた春の全国交通安全運動街頭キャンペーンでドライバーに手作りマスコットが配られました。これは、上椎葉わらび会（会員10人）が作成したもので、交通安全の願いが託されています。

同会は、パッチワークなどの手芸愛好家が集うグループで、運動期間中にはボランティアで毎年200個のマスコットを作っています。今回は、今年の干支「イヌ」のマスコットを街頭で配布しながら交通安全を呼び掛けました。恒例となったこの活動も今年で12年目を迎え、マスコットも12個目。お守りとして車に飾るなど楽しみにしている方も多く、交通安全運動には欠かせないものとなっています。



▲競い合うように咲く数万本の花々。

花であふれる「信夫の里」

4月上旬、松尾地区「信夫の里」でスイセンとサクラの花が同時に満開となり、村内外から多くの見物客が訪れました。同公園は、名古屋市で建築会社を営む高柳信夫(66)さんの所有。十数年前から同所にサクラの植栽を始め、現在では25haにサクラ1万本、スイセン8万6千株、ツツジ2万8千本が植栽されています。

シカの被害対策など管理も大変とのことですが、年々木々も大きくなり有数の花公園となりました。5月上旬にツツジが咲くまで、いろいろな花や樹木で彩られ、日ごとに変わる景観が多くの方の楽しみとなっているようです。



▲ひえつき節日本一大会の初代チャンピオンでもある宇賀さん。

「正調ひえつき節」で民謡九州一

4月8～9日、熊本県人吉市で平成18年度日本民謡協会九州春季大会「民謡民舞の祭典」(財団法人日本民謡協会ほか共催)が開催されました。同大会には、九州各県の同協会各支部会員1200人が参加。2日間にわたって民謡や民舞などを披露し、コンクールを行いました。

同大会では、梅宴高年部2部(60～69歳)の種目に本村から出場した宇賀邦雄さん(上椎葉下1)が、「正調ひえつき節」を唄い優勝。また、各種目の優勝者で競い合う総合の部でも最高得点を獲得し、グランドチャンピオンとなりました。総合優勝の宇賀さんは、今年10月に東京都で行われる全国大会の内閣総理大臣杯に九州代表として出場することが決まりました。

